

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	飯田市防災行政無線設備更新事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	9	1	5	10	99	
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等		飯田市地域防災計画				
		事業期間	17	年度～	28	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市・上村・南信濃地区に設置された防災行政無線(アナログ方式)	周波数の割当て数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			3	1		
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	飯田市・上村・南信濃地区の防災行政無線を統合しデジタル化する。	周波数の割当て数 1÷周波数の割り当て数(%)	18目標	最終目標		100
			18実績	33	19目標	
			23目標	23実績		最終目標達成年度
		デジタル化	18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田市、上村、南信濃村の合併に伴い、1市2村の防災行政無線の周波数を統合しなければならない。(総務省から1自治体1波指示)しかし一度に整備を行う事は困難なため計画に沿った整備をしていく。また統合にあたっては、アナログ方式での無線整備は、免許の割り当てが受けられないため、デジタル方式での整備となる。 ・親局の設備 ・同報子局整備 ・中継局の整備 ・屋外受信設備 ・戸別受信設備 ・陸上移動局設備 1市一波及び住民が正確な防災情報の受取が防災行政無線のデジタル化さらに関係機関との連携により問題をクリアできる。 またデジタル化にすることによって災害時要援護者等にも情報発信が可能となり現在の聞くだけの受信だけでなく目で確認できる受信が可能になる。	飯田市防災行政無線総合整備計画の見直し 飯田地区で放送している災害情報を上村・南信濃地区でも同時に放送できるようにするため、矢筈トンネルへ敷設する光ケーブルを利用して有線接続工事をおこなう。 デジタル無線整備検討委員会を設置し、総合的かつ中長期的な計画大綱を年度内に策定する。	計画見直し 接続工事 計画大綱の策定	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	0	0
事業費計(A)	0	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 200
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	715
	トータルコストA+B	358	715

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する。	市民が災害に備えている割合	現状値	40	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
	火災発生件数		現状値	51	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	50	

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>旧飯田市と上村・南信濃村の地域の防災行政無線が別々の周波数で使用しているため合併後は同じ周波数で統一しなければならない。また統一方法は総務省信越総合通信局からデジタル化で行うよう指示。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>上村・南信濃の合併により1自治体1波の原則に基づいて整備を進める。設備を行うにあたってはデジタル化で行わなければならない。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>上村・南信濃地区へ飯田地区の災害放送同時に流れないため統一された情報提供が必要との意見がある。</p>
---	---	---

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	システムを統合することにより、円滑な情報収集・情報伝達システムが構築でき市民の防災意識が高まる。	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由) デジタルとアナログの組み合わせの検討
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)			廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由) 大規模災害時に上村・南信濃と飯田の間の情報伝達・情報収集ができない
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)	システムの統合は必要である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <input type="checkbox"/> 関連事業あり (類似事業名、理由) 消防無線との連携
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)	情報収集・情報伝達は行政の責務であり、市民の生命財産を守ることに繋がる		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由) 事業の実施方法などの検討により削減ができる
				公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) 整備は行政の責務である。

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>上村・南信濃への地域防災無線をどのように繋ぐのか、またシステムをどの範囲まで整備していくか関係機関と検討・調整を行う</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>実施時期、方法について更に検討</p>
--	---

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	